



南が丘通信

練馬区立南が丘中学校

校長 北見 朱美

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

令和元年度 第 12 号 令和 2 年 3 月 25 日発行

〒177-0035 練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <http://www.minamigaoka-j.nerima-ky.ed.jp>

卒業生の言葉（特別号）

令和 2 年 3 月 19 日（木）は、南が丘中学校の桜の蕾が開きはじり、とても温かな一日となりました。そして、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、ご来賓の方々をお招きできず、規模を縮小した卒業式を執り行うこととなりました。多くの学校が、出席者を限定するなど、式場にアルコール消毒液を設置したり、椅子の間隔を空けて出席者間のスペースを確保したりする対応を行いました。

南が丘中学校の卒業生の凛とした立ち居振る舞いは、これからの明るい未来を創造する強い決意と覚悟を感じさせるものでした。多くの方々への感謝に溢れた「卒業生の言葉」をご覧ください。



「三年間を振り返って」

卒業生代表 野平海人

今年の桜はまるで私たちの卒業を祝福するかのように例年より早くそのつぼみを出し、今日前庭で咲き誇っています。この良き日に、南が丘中学校での生活を締めくくる卒業式を迎えられたことを嬉しく思います。思えば、そんな中学校生活も桜の舞う時期に始まりました。

少し丈の長い制服に袖を通し、緊張したまま教室に入ると、そこには同じように緊張した顔の新たな仲間たちがいました。その後行われた入学式では先輩たちの歌声に圧倒されたことを今でも鮮明に覚えています。

中学校初めての宿泊行事、臨海学校。悪天候のために大遠泳のリハーサルが中止され、一時はどうなるかと思いましたが、当日には天気も回復し、無事全員が泳ぎ切ることができました。また、つらい練習を共に乗り越えたことで、まだぎこちなかったみんなの心も一つになりました。

初めて後輩ができた二年生。小学校とは違い、部活や学校生活などにおいて下級生との交流が多く、先輩として手本となる行動をとることの大変さを知りました。スキー教室では、みんなどんどん滑れるようになっていき、自分たちの底力を感じることができました。ここでついた自信はその後の受験勉強などにも生かされました。

三年生として迎えた最後の合唱コンクールでは課題曲として「道」を歌いました。練習を重ねるうちに歌詞の意味を考え、自然と卒業を意識するようになりました。練馬文化センターでの学年合唱。学年が一つになって歌った「道」、あの時感じた感動は忘れることができません。

そして私たちは今日、卒業式を迎えました。辛いことも楽しいこともいろいろあった中学校生活も今日をもって終わりとなります。私たち三年生はこれから一人一人違う道を歩いていくこととなりますが、この南が丘中学校での思い出は、いつまでも変わらない一緒に歩いてきた道です。

「共に過ごした後輩たち、そして仲間へ」

卒業生代表 熊谷日夏

南が丘で過ごしていく在校生のみんなへ

二年生のみんな、私たちは良い背中を見せられたでしょうか。初めて先輩という立場になった私たちは、頼りない所も多かったと思います。けれど、私たちが困っていた時に、支えてくれたのはみんなでした。最上級生になっても、みんなのもっている力で後輩を引っ張って行ってください。

一年生のみんな、関わった時間は短かったけれど、廊下ですれ違った時にみんなの挨拶を聞いて、とても元気をもらいました。その元気で、次の三年生を支えていってください。

みんなのような素晴らしい後輩をもてたことを誇りに思います。ありがとうございます。これからも南が丘での「今」を大切にしてください。あつという間に過ぎてしまう時間を、仲間と手を取り合っていてください。南が丘を、みんなに託します。

共に過ごしてきた三年生の仲間へ

一年生の時に行事で毎回のよう壁にぶつかったのを思い出します。そのたびに心が折れそうになったけれど、みんなで乗り越えてきました。上級学年に向けて、毎日成長してきたみんなと卒業を迎えられて、本当に嬉しいです。みんなが時にぶつかり合い、時に笑い合ったそんな日々が楽しかったです。この学校で出会った仲間たちと過ごした当たり前の日常が、今終わろうとしています。けれど、別の道に進んでも私たちは独りではありません。心の中にみんなとの思い出が残っています。

たくさんの思い出をみんなと作ることができて、心の底からよかったです。この思い出を胸に未来への道へ歩き出しましょう。またいつか、みんなで話せる日を楽しみにしています。三年間、本当にありがとうございます。

「お世話になった皆さんへ」

卒業生代表 星佳汰

毎日快く学校へと送り出してくれた家族、そして私たちをここまで育ててくださった先生方。三年間ありがとうございました。

家族はいつも一番近くで見守ってくれ、辛い時には陰で支えてくれました。嬉しい時には喜んでくれ、苦しい時には一緒に考えてくれました。大切な日の朝に言ってくれた「頑張って」のひと言は、僕たちの心の支えとなりました。普段は言葉に表せないけれどいつも心の中で思っています。「お父さん、お母さん、ありがとう。」

先生方は、僕たち一人一人の要望に応じてくださいました。どんなに辛い場面に置かれていたとしても、最後まで僕たちの力を信じてくださいました。特にこの一年間は受験という大きな壁に向き合った時に「大丈夫」と背中を押してください、全員が今ここに笑顔で立つことができています。先生方に教わったことは忘れません。本当に感謝しています。

私たちはここで別れ、別々の人生を歩んでいきます。しかし、ここでの三年間で育まれた僕たちの大切な絆はいつまでも絶えることはありません。どんなに困難で立ち止まったとしても、大きな壁に阻まれたとしても、きっと誰かが手を差し伸べてくれるでしょう。一人一人が空高く舞い上がれるように、全員で乗り越えていきます。遠回りをしたり、何十年かかっても、自分の決めた道に恥じないように歩いていきます。そして、その姿を家族や先生方に見せられるよう、私たちは努力し続けます。

「心も体も成長した三年間」

卒業生代表 中納悠稀

私たちはE組でたくさんのことを経験してきました。毎年、一学期と三学期に行われる宿泊学習。山登りやスキーだけでなく、寝食を共にする生活の中で様々なことを学びました。今年は修学旅行にも行きました。そのおかげで、みんな身のまわりのことはほとんど自分の力でできるようになりました。作業学習では、畑や花壇の手入れを欠かさず行いました。毎年秋から冬にかけては、自分たちで大根を植え、育て、収穫したものを細かく切り、天日干しにして、E組特製の切り干し大根を作りました。多くの方からお礼の言葉をいただき、地道な活動の成果と達成感を感じることができました。毎日のようにあった体育の授業。体力づくりと仲間と協力する楽しさを学びました。冬の長距離走では体だけでなく、辛さに負けない心も鍛えることができました。文化発表会に向けて夏休みも取り組んだ合奏の猛練習。みんなの心がひとつになり、多くの人たちに感動をあたえることができました。諦めずに努力を続ければ、成し遂げられるという自信にもなりました。

今日でE組を離れるのは寂しいですが、南が丘中学校で過ごした三年間の思い出を胸に、自分の力を信じて生きていきます。この三年間、私たち五人を見守ってくださった全ての方々に感謝します。ありがとうございました。

【今後の予定】

4月6日(月) 始業式(8時25分登校)

4月7日(火) 入学式(係生徒9時20分登校、一般生徒9時35分登校) *登校時間は変更する場合があります。

4月8日(水) 明けテスト、給食開始

*今後の予定および予定変更等の連絡につきましては、学校HP、学校連絡メールでの配信を予定しております。